

分野	専門分野Ⅰ －基礎看護学－	対象学年	1
		時期	前期～後期
授業科目	共通基本技術Ⅰ (看護技術概論) Common Basic Nursing Skills Ⅰ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	看護師として附属病院で9年間の実務経験有		
授業概要	<p>看護技術は対象となる人々に対して安全・安楽に、できる限り身体的・精神的・社会的に自立して、生活が送れるよう援助する技術である。本科目では、看護技術の土台となる共通する考え方を学ぶ。それは、人間関係を形成するコミュニケーション技術、情報をアセスメントし、看護を計画的に展開する看護過程、対象の治療への主体的な参加を支援する学習支援の技術である。これらの技術は、さまざまな看護場面において必要となる技術である。</p> <p>また、看護過程の導入として、一連のプロセスについて学習する。そして看護技術も思考過程を踏んで、必要な技術の選択や方法の選択を行っていくことを学ぶ。看護に対する見方、考え方を身につけ、自ら学んでいける力を培う。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護技術とは何かを理解する。</li> <li>2. 看護技術の基本を理解する。</li> <li>3. 看護過程の一連のプロセスを理解する。</li> <li>4. コミュニケーションの特徴と方法を理解する。</li> <li>5. 看護における学習支援の意義と方法を理解する。</li> <li>6. 対象の尊厳に配慮する姿勢を養う。</li> <li>7. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。</li> <li>8. 主体的に取り組む姿勢を養う。</li> </ol>		
評価方法	<p>終講試験 85点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術の基本 14点</li> <li>・コミュニケーション技術 24点</li> <li>・看護を実践するための方法としての技術 40点</li> <li>・看護における学習支援 7点</li> </ul> <p>授業で取り組む課題評価 15点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロセスレコード 5点</li> <li>・アセスメント 5点</li> <li>・援助計画 5点</li> </ul>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p>		
参考図書	NEW 実践 看護実践を導く 情報収集・アセスメント【第5版】		
メッセージ	<p>看護を実施するために、基本となる考え方を学ぶ科目です。初めて聞く言葉がたくさん出てきますが、一つひとつ理解しながら進めましょう。</p> <p>コミュニケーションにおいては信頼を基盤とした人間関係を形成するために、看護師としてどのようにコミュニケーションをとることが必要かを学びます。また、人としての対象理解と分析の方法について学びます。演習もありますので、じっくり考えながら取り組みましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	Ⅰ 看護技術の基本 1.看護技術の概念と目的	看護技術の概念と目的について理解する	技術とはなにか。看護技術の特徴や技術の基本原則について学習する。	講義	
2	2.情報の伝達と共有化	情報の伝達と共有の大切さについて理解する	情報収集の基礎知識。報告・連絡・相談の大切さや記録の基礎知識について学習する。	講義	
3	Ⅱ コミュニケーション技術 1.コミュニケーションの基本	コミュニケーションの基本について理解する	コミュニケーションの基本について考える	講義	

4	2.カンファレンス	カンファレンスの目的について理解し、学びを共有し、新たな学びにつながることに理解する	カンファレンスの目的と進め方について学ぶ カンファレンス運営時の役割について。	講義	
5	3.プロセスレコード	プロセスレコードの目的・書き方について理解する	プロセスレコードの目的・書き方について学ぶ プロセスレコードを通して自己や他者の気持ちを考える。	講義	
6	4.プロセスレコードカンファレンスの実際	プロセスレコードを活用して場面の再構成と行動の分析・考察ができる	プロセスレコードを用いたカンファレンスを通して、自己を振り返る方法と対象理解について学びを深める	演習	
7	Ⅲ看護を实践するための方法としての技術 1.看護過程	看護過程の一連のプロセスについて理解する	看護過程とは何か、看護過程を学ぶ必要性やクリティカルシンキング、看護理論との関係性について学ぶ。	講義	
8	2.情報収集	対象を理解するための情報収集について理解する	人として対象理解するための情報収集として、情報収集の内容や方法を学習する。	講義	
9	3.情報の分析	対象の捉え方、分析の方法について理解する	対象のねがいと看護者のねがいを踏まえた上で、情報の分析を考えていく。	講義	
10	4.アセスメントのまとめ	情報収集、分析について理解する	情報収集、分析のまとめをする。	講義	
11	Ⅳ看護の視点と看護アセスメントの実際 1.情報収集	紙上事例を用いて情報収集する	紙上事例の展開 事例の対象の情報を収集し整理する。 対象のねがいを考えていく。	演習	
12	2.分析	紙上事例を用いてアセスメントする	対象のねがいに対し、看護者のねがい、その根拠を考える。	演習	
13	3.援助の方向性	紙上事例を用いて援助の方向性を明確にする	対象のねがいと看護者のねがいを形にしていく。対象に必要な援助を考え、援助計画を立てる。	演習	
14	Ⅴ看護における学習支援 看護の中に含まれる学習支援	看護における学習支援について理解する	看護における学習支援、さまざまな場における学習支援について学習する。	講義	
15			終講試験		